

他ノ物件ヲ検査スルコトヲ得

第四十五條 納税者納税最終期日迄ニ納税セサルトキハ縣ハ一定ノ期間ヲ定メテ之ヲ督促シ尙意納スルトキハ縣ハ法令ノ定ムル手續ニ據リ之ヲ徴收スルコトヲ得

第四十六條 縣ハ夫役及現品ノ徴收ニ應セサル者アルトキハ自ラ之ヲ支辨シ或ハ第三者ヲシテ之ヲ支辨セシメ其ノ費用ヲ義務者ヨリ徴收スルコトヲ得

前項費用ノ徴收ニ關シテハ前條ニ依ル

第四十七條 縣ハ其ノ公共事務及法令ニ依リ縣ニ屬スル事務ヲ執行シ並ニ縣内行政事務ヲ處理スル爲ニ要スル費用ヲ負擔スル義務ヲ有ス、縣ハ其ノ財産ヨリ生スル收入、縣税、使用料、手数料、過怠金及其他法令ニ依リ縣ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充ツルコトヲ得若シ已ムラ得サル事由ニ因リ尙不足アル時ハ國ノ補助ヲ受クルコトヲ得

第四十八條 縣ノ歳出入豫算ハ民政部總長ノ認可ヲ受クヘシ

民政部總長ハ縣ノ豫算ニシテ不適當ト認め又ハ法令上ノ義務ニ違反スルモノアリト認ムル時ハ其ノ修正若ハ追加ヲ命スルコトヲ得

第四十九條 縣ノ會計年度ハ國ノ會計年度ニ依ル

第五十條 縣ハ民政部總長ノ認可ヲ承ケ縣債ヲ募集スルコトヲ得、其ノ條件ノ變更モ亦同シ

第五十一條 縣ハ毎年會計年度締切後三箇月以内ニ決算書ヲ作成シ民政部總長ニ提出スヘシ

附 則

第五十二條 本縣制ヲ施行スヘキ縣ハ敕令ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第五十三條 本縣制施行ノ日ハ別ニ之ヲ定ム

一 旗 制 (大同元年七月五日敕令第五十六號  
改正！大同元年八月三日敕令第七十五號)

第一章 通 則

第一條 旗ハ法人トシ國ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務及法令ニ依リ旗ニ屬スル事務ヲ辦理ス

第二條 旗ハ國ノ行政區劃タル旗ヲ以テ其ノ區域トス

第三條 旗内ニ住所ヲ有スル者ヲ旗住民トス旗住民ハ凡テ本令ノ規定ニヨリ權利ヲ享有シ義務ヲ負擔ス

第四條 旗ハ其ノ住民ノ權利義務及自治事務ニ關シ旗條例及旗規則ヲ制定スルコトヲ得但シ本令

及其ノ他ノ法令ニ抵觸スルコトヲ得ス  
旗條例及旗規則ノ制定若ハ改廢ハ與安總署總長ノ認可ヲ受ケ且ツ一定ノ公告方式ヲ以テ之ヲ告  
示スヘシ

第二章 旗 行 政

第五條 旗ニ左ノ職員ヲ置ク

旗長	薦任	一人
事務官	薦任	二人
技正	薦任	一人
警正	薦任	一人又ハ二人
警佐	委任	三人
屬官	委任	五人

第六條 旗長ハ旗ノ行政ヲ統轄シ其ノ旗ヲ代表ス

第七條 旗長ハ部下官吏ヲ指揮監督シ薦任官以上ノ進退ニ關シテハ分省長ヲ經テ與安總署總長ニ  
申請シ委任官以下ハ之ヲ專行ス

第八條 旗長ハ其ノ主管事務ニ關シ職權又ハ特別ノ委任ニ依リ旗令ヲ發スルコトヲ得

第九條 旗長ハ非常事變ニ際シ兵力ヲ必要トスルトキハ地方駐劄軍隊司令官ニ對シ出兵ヲ請求ス  
ルコトヲ得

第十條 旗長事故アルトキハ事務官ノ一人命ヲ承ケテ其ノ職務ヲ代理ス

第十一條 事務官ハ旗長ノ命ヲ承ケ事務ヲ分掌ス

技正ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

警正ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌リ若ハ警務ヲ掌ル

警佐ハ上官ノ指揮ヲ承ケ警務ニ從事ス

屬官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務若ハ技術ニ從事ス

第十二條 旗公署ニ左ノ三科ヲ置ク

- 總務科
- 內務科
- 警務科

第十三條 總務科ハ人事、文書、會計及其ノ他他科ノ主管ニ屬セサル事項ヲ掌ル

第十四條 内務科ハ旗内自治團體、公共組合ノ監督並ニ教育、宗教、勸業、土木、交通其ノ他地方行政ヲ掌ル

第十五條 警務科ハ警察、衛生及自衛團ニ關スル事務ヲ掌ル

第十六條 科ニ科長ヲ置キ總務科長及内務科長ハ事務官ヲ以テ之ニ充テ警務科長ハ警正ヲ以テ之ニ充ツ

第十七條 旗ニ警長及警士ヲ置キ何レモ委任官待遇トス

警長及警士ニ關スル規定ハ興安總署總長之ヲ定ム

### 第三章 旗 自治會

第十八條 旗ニ旗自治會ヲ設クルコトヲ得

自治會ヲ設置スヘキ旗ハ署令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條 旗自治會ハ五人乃至二十一人ノ委員ヲ以テ之ヲ組織ス

前項委員ノ定員數ハ署令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 旗自治會委員ハ左ノ要件ヲ具備スル旗住民中ヨリ興安總署總長ノ認可ヲ得テ旗長之ヲ選任ス

一 相當ノ知識、經驗ヲ有シ德望高キ者

二 其ノ旗内ニ繼續シテ三年以上居住セル者

三 年齡二十五歳以上ノ男子

四 獨立ノ生計ヲ營ム者

前項第二號三年ノ制限ハ之ヲ特免スルコトヲ得

第二十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ旗自治會委員ニ選任スルコトヲ得ス

一 現任官吏

二 現ニ僧道若ハ巫者タルモノ

三 刑ノ宣告ヲ受ケ其ノ執行終了後三年ヲ經過セサル者

第二十二條 旗自治會委員ノ選任ニ關スル細則ハ署令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十三條 旗自治會ニ委員長ヲ置ク

委員長ハ委員中ヨリ之ヲ互選ス

第二十四條 旗自治會委員ノ任期ヲ三年トス、但シ重任ヲ妨ケス

旗自治會委員ニ欠員ヲ生シタルトキハ旗長ハ速ニ興安總署總長ノ認可ヲ得テ補欠委員ヲ選任ス

ヘシ其ノ任期ハ前任者ノ殘餘期間トス

第二十五條 旗自治會委員ヲ名譽職トス但シ委員ノ職務執行上支出セル費用ハ之ヲ償還スルコトヲ得

前項ノ費用ノ償還方法及金額ハ旗條例ヲ以テ之ヲ定ム

第二十六條 左ノ事項ハ旗自治會ノ決議ヲ經ルヲ要ス

一 旗ノ歳出入豫算及決算

二 旗税、使用料、手数料、夫役並ニ現品ノ賦課徴收

三 豫算外支出

四 旗條例ノ制定及改廢

五 基本財産及救災施設ノ設置、管理及處分其ノ他旗長ニ於テ重要ナリト認メタル事項ハ旗自治會議ニ付スルコトヲ得

第二十七條 旗自治會ハ旗ノ公益ニ關スル事項ニ付旗長及其ノ他ノ官署ニ對シ意見書ヲ提出スルコトヲ得

第二十八條 旗自治會ハ每年少クトモ一回旗長之ヲ召集スルヲ要ス

旗自治會ノ會期ハ旗長之ヲ定ム

第二十九條 旗自治會ハ委員半数以上ノ請求アルトキハ之ヲ召集スルヲ要ス

第三十條 旗長ニ於テ旗自治會ノ決議ニ付キ權限ヲ越エ法令ニ違反スルモノアリト認メタルトキハ與安總署總長ニ之ヲ取消方ヲ呈請スルコトヲ得

第三十一條 旗自治會旗ノ收支ニ關シ不適當ナル決議ヲ爲セルトキハ旗長ハ之ヲ再議ニ付シ尙前議ヲ改メサルトキハ之ヲ停止シテ直チニ與安總署總長ノ指揮ヲ請フヘシ

第三十二條 旗自治會會議規則ハ旗條例ヲ以テ之ヲ定ム

第四章 財 務

第三十三條 旗ハ旗住民ニ對シ旗税、夫役若ハ現品ヲ賦課徴收スルコトヲ得

旗税、夫役及現品ノ賦課徴收ニ關シテハ法律ノ規定ノ外旗令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第三十四條 旗ハ營造物若ハ公共用財産ノ使用ニ關シ使用料ヲ徴收シ並ニ特定人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徴收スルコトヲ得

第三十五條 旗税ノ賦課ニ關シ必要アルトキハ旗ハ人ヲ派シテ居宅若ハ營業所ヲ臨檢スルコトヲ得

第三十七條 旗税ヲ滯納スル者アルトキハ旗ハ一定期間ヲ限り之ヲ督促シ尙納付セサルトキハ法

定手續ニヨリ之ヲ徵收スルコトヲ得

第三十七條 夫役及現品ノ徵收ニ應セサル者アルトキハ旗ハ自ラ之ヲ支辨シ若ハ他人ヲシテ支辨セシメ其ノ費用ハ義務人ヨリ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項費用ノ徵收ハ前條ニ據リテ行フ

第三十八條 旗ハ其ノ公共事務及法令ニ依リ旗ニ屬スル事項ヲ處理スル爲ニ必要ナル費用ヲ負擔スル義務ヲ有ス

旗ハ旗財産ヨリ生スル收入、旗税、使用料、手数料、過怠金其ノ他法令ニ依リ旗ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ已ムル得サル事由ニ因リ尙不足スル時ハ與安總署總長ノ認可ヲ得テ國庫ノ補助ヲ受クルコトヲ得

第三十九條 旗ノ歳出入豫算ハ與安總署總長ノ認可ヲ得ルヲ要ス

第四十條 旗ノ會計年度ハ國ノ會計年度ニ依ル

第四十一條 旗ハ毎年會計締切後三個月以内ニ決算表ヲ作成シ與安總署總長ニ提出スヘシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ施行ス

一 特別市 制(大正元年八月十七日政令第七十七號)

第一章 通 則

第一條 特別市ハ法人トシ直接國ノ監督ヲ承ケ省ノ行政範圍ニ入ラス

特別市ハ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ行政事務ヲ處理ス

第二條 特別市ノ區域ハ別ニ之ヲ定ム

第三條 特別市ノ境界ヲ變更セントスルトキハ關係縣長ノ意見ヲ徵シ民政部總長之ヲ定ム

前項ノ狀況ハ財産ヲ伴フ時モ亦同シ

第四條 凡ソ特別市内ニ居住スル者ヲ特別市住民トス

特別市住民ハ本法ニ遵照シ特別市ノ財産及營造物ヲ共用スルノ權利ヲ有シ特別市ノ負擔ヲ分擔スルノ義務ヲ有ス

第五條 特別市ハ其ノ住民ノ權利義務及市ノ事務ニ關シ特別市條例及特別市規則ヲ制定スルコトヲ得但シ本法及其ノ他ノ法令ニ牴觸スルヲ得ス

特別市條例及特別市規則ノ制定及改廢ハ民政部總長ノ認可ヲ得且ツ一定ノ公告式ヲ以テ之ヲ告示スヘシ